



MABOOST®

解き放て、
植物の力。



事実、
ストレスに打ち勝った作物は
健やかに育つ。



様々な環境ストレスに対する作物の自己防御力を高める 総合ストレス軽減剤

ギガフォル®

作物が自ら作る防御物質である**適合溶質**（グリシンベタイン、プロリンベタイン、プロリン等）と、作物の健全な生育を後押しする**各種アミノ酸、ビタミン、輸送タンパク**を配合したバイオスティミュラント資材です。各成分を効果的な黄金バランスで配合し、作物の自己防御力を最大限に高めます。

様々なストレス発生前に予防的に散布することで、健全な生育を後押しします。



総輸入元  三井物産アグロビジネス株式会社

ギガフォルの特長

- 1 作物が自ら作る防御物質である適合溶質 (グリシンベタイン、プロリンベタイン、プロリン等) を配合し、幅広いストレス耐性を付与。
- 2 適合溶質の他に、各種アミノ酸、ビタミン、輸送タンパクも配合し、作物の健全な生育をサポート。
- 3 上記適合溶質は相互に補完する作用があるため、含有率の高さが重要ではなく、効果を最大限発揮できるよう、黄金比のバランスで配合。
- 4 様々なストレス発生前に予防的散布で自己防御力を高める、バイオスティミュラント資材。

使用方法

【基本的な使用方法】

1. 定植2週間後から2週間間隔で、200ml/10a・回の散布が基本です。
2. 環境ストレスによる生育停滞が懸念される場合には右の散布をお勧めします。

・環境ストレスによる生育停滞が懸念される場合

1回目の散布	ストレスが発生する24～72時間前に、200ml/10aを散布します。
2回目の散布	ストレスが発生した24時間後に、200ml/10aを散布します。
3回目以降の散布	2週間間隔で200ml/10aを散布します。

※当日に降雨予報がある時は極力散布を避け、もし散布直後に降雨があった際は、再度散布することをお勧めします。

ぶどう

◎高温乾燥耐性向上

- 試験先: 島根大学
- 品種: シヤインマスカット
- 使用量: 200ml/10a・回、400ml/10a・回を葉面散布
- 散布時期: 7/14、8/3、8/23の3回
- 栽培環境: 乾燥期間; 9/6～10/4 (当期間の灌水無し)

処理濃度	正常	一部生存	枯死
400ml/10a	50%	10%	40%
200ml/10a	0%	20%	80%
無処理	0%	10%	90%

- ①約1か月間の水切り後、ギガフォル区は生存率20～50%に改善した。
- ②ギガフォルの施用によって乾燥耐性の向上傾向を確認した。(3か年継続)
- ③9～10月の高温下(ビニールハウス内の晴天時 日中気温35℃以上)の乾燥条件で試験を実施。

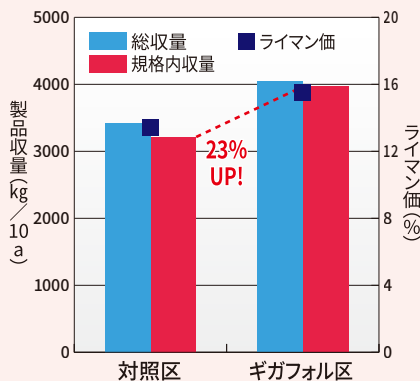


10/4時点

馬鈴薯

◎乾燥ストレスへの耐性向上

- 使用地: 青森県
- 品種: トヨシロ
- 使用量: 200ml/10a・回 (水量100ℓ) を葉面散布
- 散布時期: 6/6 (開花始期)、6/26 (開花揃期)、7/4 (終花期) の3回
- 栽培環境: 7月の降水量が平均値の50%以下



7/31時点

【製品概要】

肥料登録: 液状肥料 (輸第105582号)

施肥方法: 葉面散布

希釈倍率: 500倍～

使用量: 原液100～300ml/10a/回

使用回数: 穀類; 1～2回、蔬菜類; 2～3回、果樹類; 3～4回

保証成分		pH (100倍液)	比重	外観	その他有効成分
窒素全量 (TN)	水溶性加里 (WK)				
2.0%	6.5%	6.5	1.22	茶色	①ベタイン (プロリン、グリシン) ②低分子の各種アミノ酸 (プロリン、グルタミン酸など) ③ビタミン類 (B5、PP、B1、B6) ④輸送タンパク質

使用上の注意

- 農薬混用の事例はありますが、お使いの際には、事前に少量混用試験を行い散布に問題ないことをお確かめください。
- 強アルカリ性資材 (石灰硫黄合剤等)、銅剤との混用散布は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。
- 施肥作業後は、洗顔やうがいをし、皮膚等への付着物を洗い流してください。

ください。

- 開封後は短時間で使い切ってください。開封後に保管する場合、直射日光を避けて保管してください。
- 希釈散布溶液を作成した場合、当日にご使用ください。
- 冬期は凍る恐れがありますので、越冬する際は凍結しない環境で保管するようにしてください。

詳しい製品情報は
こちら！

